いわき民報

[illegible]
定價一ケ月四十圓　一部一圓五十錢
發行所
いわき民報社

競技界の權威
織田幹雄氏をコーチに
きようから三日間磐女と内郷で
特にホープ三瓶陽子孃達の爲に

陸上競技界の權威で殊にジャンプ競技の王者としてオリンピック三段跳に日の丸の旗を靡かせて氣を吐いた織田幹雄氏は七日來平、八、九の兩日にわたり磐女高グランド及び内郷町常磐炭礦グランドで市郡下陸上競技について實地指導をなすことゝなつた、特に磐女高では宿敵京都ＡＣの山下好子孃をさきの全日本陸上選手權大會に破り以來完全に女子八十米障害のナンバーワンとして君臨、來る二十九日から福岡に開く全國民体育大會にホープとして出場する三瓶陽子孃のために手をとつてコーチすることになつている、朝日新聞社運動部長の繁忙な職にありながら仝氏が三日間もコーチに來るに至つたのは、三瓶孃を今日までに育てあげた仝校教官高崎剛氏や常磐炭礦關係者その他の熱意に動かされたもので、仝氏のコーチにより陸上石城の王座はいよく搖ぎなきものとなろうと大きな期待がかけられている

小名濱全遞の公判開く
予定を變更きよう午前十時から

來る二十日に開廷豫定と發表されていた小名濱全遞支部長片寄幸男（二五）青年部長根本勝男（二三）婦人部長小松シメ子（二三）執行委員諏訪拓治（二七）仝大平正章（三〇）仝渡邊安顯（二〇）さんら六名に係るいわゆる職場離脱問題、政令第二〇一號違反事件の第一回公判は突如七日午前九時より地裁平支部に於て裁判長、宮後檢事係り辯護人は元山形地方裁判所判事自由法曹團所屬福田力之助及び平市久保庫の兩氏で開廷された

福田辯護人

へき頭無罪論
マイクすえた異常な法廷風景

開廷前から全遞を始め各勞組關係者約百名程が傍聽席にあふれ、マイクを裁判長席被告席に据えたり又組合幹部が勞組關係傍聽者に靜肅を要望するなど物々しい空氣を漂わせていた、定刻直前大平正章、根本勝男、渡邊安顯・諏訪拓治、小松シメ子、片寄幸男さんの順に着席、いづれもやゝ蒼白な顏色を示していたがたゞ紅一點の小松シメ子さんの顏がやゝ日焼氣味に黑ずんでいるのが人目を引いていた、やがて志村裁判長以下宮後檢事が入廷、型通りの訊問から先づ宮後檢事立上つて『公判請求書記載の事實に就いて御審理乞う』と一言極めて簡單な公訴事實を申述べたやがて福田辯護人より政令第二〇一號違反事件について特に注意して貰いたい事は政府の意圖が自己の政策を强行するため本法令を利用している點である、とその公判鬪爭の態度を明かにしこの辯論が約四十分に亘る事を述べれば裁判長『出來る限り簡單に、詳しい點は後で聞く』と注意あり福田辯護人更に辯論を續け

公訴狀では何處に教唆者の犯意があるか、又何時被教唆者は犯意を生じたか、大會の決議をした事に被告等は責任があるのか、決議した事が教唆した事になるのか、政令の言う爭議手段はどうゆう事であるのか等々につき公訴の不當を主張無罪の判決ある事を望んで約二十分に亘る異例冒頭辯論を終えた

慰勞休暇
離脱でなく
各被告の辯

やがて裁判長の公訴事實に關する訊問に對し各被告は夫々大要次の如く述べた

（大平正章）慰勞休暇の名目で職場離脱はしない、懇談會には閉會五分前に出席したため内容は良くわからなかつた

（根本勝男）八月二十四、五の兩日の國鐵全遞を圍む懇談會にも馬ノ目、鈴木方の會にも出席した、慰勞休暇の名目ではなく、休暇そのものをとつたのである

（渡邊安顯）反對鬪爭を强力に主張したが可決せしめたのではない、勿論決議はした自分は職場をみださせるためではなく二十五名が自主的に休暇をとつたものと考える

（諏訪拓治）八月二十一、二十三日の全遞支部大會の議長を務めた、万場一致で反對鬪爭を可決したが可決せしめる樣導いたことはない、國鐵全遞を圍む會で離脱者から蹶起をうながされたことはある、遊説班を編成したが、缺勤せしめたことはない

（小松シメ子）政令二〇一號反對鬪爭をすることを主張した、（福田氏より主張でなく發言したものと注意あり）

（片寄幸男）缺勤の教唆はしない、反對鬪爭の氣運が生じたことは認める、支部長として右鬪爭を主張したが可決せしめたことはないといずれも公訴事實中指導的立場から教唆し大會決議を可決せしめるようリードしたことはなく、又職場離脱ではなく慰勞休暇をとつたものであると主張したが十一時二十分休憩となり午後は十二時半より改めて各被告の身分財産家族關係の訊問が行われ更に福田辯護人より保釋の申請が行われるものとみられている

醫藥用、化學用
其他硝子製品一式
新星藥品工業株式會社
平市田町
電七一四番

お米の收穫
十八万七百石
九月二十日現在調べ

先日のアイオーン颱風後の被害状況を考慮して縣農業事務所石城支所で作成された九月二十日現在第三回米の本年度收穫豫想が七日次の如く發表された即ち水稻、陸稻共合せて總作付面積八千三百十三町二反歩に對しいわゆる播種籾に達しないため收穫皆無とみられる四町一反歩を差引收穫見込數量は拾八萬七百石と推定された、從つて反當り收穫豫想は二石一斗七升となつた、八月一日現在の第一回豫想額拾八万八千七百石、九月一日の第二回豫想拾八万八千石に對し颱風被害の爲ずつと減少し拾八万七百石となつたもので大体この數字が最終的であるため實收高に近い正確なものとみられている、なお仝所では更に對策補正の資料にするべく颱風による被害状況を精査することとなつているがこれも十五日頃には作成されるものとみられている

市内映畫館の特別免稅興行

共同募金運動の一つとして市内各映畫館では次の日割で特別免稅興行を行うことになつた

九日聚樂館、十一日世界館
十三日平館、十五日東寶

職業補導所は内郷に
炭鑛人遺家族その他のために

福利協會

炭鑛福利協會平支部委員會は去る一日開いた結果、円滑なる運營を期するために文化、保健（保健、衛生、醫務）の二部門委員會を設け、委員は勞資各十三名づつで構成することにした、なお三、四年期の事業計劃たる炭鑛勞働者の殘家族に對する職業補導所設置の敷地は内郷町久世原の綜合病院隣接地千五百坪と決めた旨を説明、又福利施設建築促進委員會（假稱）設置は一應保留、更に委員會は毎月一回開くことに決めた

川部村長に
園部氏
小野現消防團長と一騎打の結果

川部村では村稅賦課問題で村會と對立、村會を解散したが改選村會は非村長派多數を占めたゝめ遂に村長の椅子を投出した小野吉一氏の後任選擧を五日教育選擧と併せて執行したが次の如く園部常太郎氏に凱歌があがつた、園部氏は當年四十七歳敗れた小野氏は現村消防團長で、年齡は五十三歳、結局若いものに軍扇があげられたわけ、なお當日の投票成績は有權者三千四百二十六票、投票總數二千五百五十二票、棄權八百七十四票の棄權率二割五分で、無効百五票であつた

當選　一、四二八票　園部常太郎

次點　一、〇一九票　小野敏[illegible]

石炭特別勞委

委員長には市井茂氏
鬼丸勞働部長から中山春男氏を推薦

石炭特別勞働委員會は六日地方勞働委員會事務局平出張所に開催、當日鬼丸縣勞働部長小林主事も來會として臨席、委員八名（橋本委員缺）出席したが、懸案事項たる中村委員長辭任に伴う第三者側委員候補につき縣知事代理鬼丸勞働部長から初代地勞委事務局長の元福島市助役中山春男（四六）氏の候補推薦あつたが、滿場異議なしで第三者側委員と決定即日附で委囑發令した、委員長及び委員長代理は一應白紙にかえし選擧を行つた結果、委員長には市井茂氏（第三者側委員）委員長代理は中山春男氏と決まつた、次回委員會は十一月二十六日と決め浮島事務局長から大和炭鑛勞組からの勞組法第十一條違反提訴並に峰岸炭鑛賃金未拂問題について説明あつて閉會した

地方事務所に調停依頼
呉羽化學煙害で被害農民が

例年問題とされる錦町呉羽化學錦工場煙害に對する地元農民（約六十名）の損害賠償請求は八月二十七日會社側に本年度の損害高は二百五十五万円（水稻含まず）なりを申込んだが三日農民代表は地方事務所にその調停方を依賴して來た、前年度の損害賠償は百六十三万（農作物全部）でその中麥類は二割の三十二万六千円程度であつたが本年度は麥野菜類だけで約七倍の二百五十五万五千円とうなぎ上りの高額で會社側では現在のところ七、八万円位ならばとみている、被害は亞硫酸ガスによるひどいもので被害面積は水田百六十町歩、麥二十一町歩、野菜六町歩でその中二町歩は手入効果のない面積であると地方事務所ではみている

專門機關を
來年からは
地方事務所側談

右に對し髙田經濟課長は語る

今度の要求額は當事者間の調査による資料を基礎に要求したものであらうが、例年惹起する問題であり今年は一應吾々が斡旋するが來年度からは地方事務所はもちろん農事試驗所食糧事務所作物報告事務所等の專門機關の手によりその實態を調査しそれをもとに賠償額を決定する心算だ、今年の要求額がはたして當を得ているかどうか疑問だが仲々デリケートでそれは言へない

共同募金成績
六、七兩日分の

六、七の兩日市役所へ次の如く共同募金の應募者があつた

【六日】四二六八円平警察署二六四円三十錢食糧配給公團

【七日】三、九〇〇円四波部落（代表鈴木利一氏、目標は三、〇九五円である）

輸入食料警備打合せ會

濱通り輸入食料警備打合會は九日午前九時から磐城通運に開き工場倉庫業、配給業、輸入食料品化工業の警備責任者や各食料公團支所長等を集め輸入食料警備知識及び取扱方に付て協議する

泥棒の頭をはねる
圖太い洋服屋

【既報】去る二十九日夜平市内新川町平青果物荷受組合車庫から小型自動車用タイヤー及びチューブ各四本を盜んで平市署員に檢擧された小野新町仲町青果業荒井孝（二六）郡山市新榮町無職鈴木七郎（三八）兩名の取調べの結果、意外にも贓品を捌出した仝町洋服仕立業星野忠孝（三三）の[illegible]二十六日夜九時ごろ大町附近道路で上小川村字後原[illegible]千代吉さん所有の自轉車時價五千円相當を鈴木等が盜んだ際、星野方に預けたが星野は無斷でこれを夏井村の知人に賣り拂つてしまつたほか更に仝夜十時ころ兩名が[illegible]磐城貨物平營業所（主任片桐重治氏（四四））車庫から新品ベビータンロップタイヤー、ホイル及びチューブ付一本外に古タイヤー一本計三万二百円相當を盜んで星野に捌き口を依賴したところ高久村消防團長志賀季三郎氏に二万七千五百円で賣つたにも拘らず鈴木等には二万三千円で賣つたからとまんまと四千五百円をの頭をはねた事が判明されたもので六日横領並に贓物牙保罪で檢擧

亂暴な修理屋

赤井村赤井字田中自轉車修理業花園浦雄（四〇）は去る三日正午ごろ自宅前で仝村大根内土工矢野悟雄さん（二一）と些細な事から口論下駄で矢野さんの頭部その他を毆打、全治二週間の傷を負わせて平地區署に檢擧

いわき寸言

▽織田幹雄氏來る、陸上石城のために大きな喜び、この機逸する勿れ

▽[illegible]消防と村會對立、泥試合に化する感強し、日本人の爭は兎角泥臭いですナ

▽タコ中毒、マコ中毒、イカ中毒に今度は納豆中毒、中毒の連續、ポン中毒の日本人も食物中毒には勝てぬ？

職人を求む
上原時計店
平驛前　電二三[illegible]

智識の糧に
―書籍の御利用を―
健康のために
榮養パンを
ベーカリー　東京堂
才槌小路

機械工具
ドリル・タップ
ダイス・スパナー
類他各種工具
水道用鉛管入荷
平驛前通白銀町１５
高平商會

炭鑛及一般工業用ゴム
總ゴム靴、醫療用ゴム
岡本ゴム工業株式會社
福島工場
石城郡赤井村小川郷驛前
本社工場　東京都江戸川區平井四ノ二七〇
葛飾工場　東京都葛飾區本田川端町二六一

●開業お知らせ●
産科婦人科
中田醫院
中田三郎
平市材木町二四　電（呼）四五四（聚樂館附近）
【入院室完備】

ミシン販賣
タイガー
トレードヤー
ブリーズ
ニッポン
ビクトリヤ
ピース
◎保險附ミシンの月賦及分割拂の御相談に應じます
永い經驗と責任ある店
草野ミシン商會
平市南町二九　電九六

販賣品目
御婚禮江戸褄
モーニング
高級衣裳
その他
▽秋柄及冬物新入荷△
中古衣類破格販賣
お求の際は是非一度御相談下さい
中古衣類問屋
中央會館
平市南町（平館隣り）電九一五一

移轉お知らせ
◇驛前より西の方いわき民報隣りに移り從前通り診療致しております
平市田町驛前大通り
（いわき民報隣）
齒科醫師　鈴木一男
鈴木齒科醫院

飯野八幡宮奉納歌俳

史談會員　雫石太郎

九月十九日飯野盛男氏の許で露沾關係其他の奉納俳諧並和歌類をみることが出來た。

一、珍しいものとしては永正年間の岩城公關係の連歌である。之は永正十七年七月のものであるから露沾の時代より二百年前後柏原天皇の時である。當地方に存する文學材料のものとしてはおそらく最古のものであらう。私は磐城文藝の萌芽は風虎父子にあるものと思つていたが、之に由れば遠く戰國時代の世に早くも文藝の芽生えがあつた。それで今の所では磐城文學の始祖は內藤風虎から岩城常陸に移つて行くわけである。

之は美濃紙大の和紙に

永正十七年七月

賦何船連歌

として龜菊丸、常隆、○麿、○隆頼、○荷、春茂、宗竹、○元、桑○、禪通の十人の連歌である。この內容については他日の研究にまつことにしてとりあえずかうしたもののあることを紹介しておく。

二、元祿十六癸未年六月一日八幡宮遷座奉納百韻として

八千代經ん　物見の岡の夏神樂　露沾

を始めして四枚つゞきのもので次の人々の作である。

露沾八、沾荷八、露柏八、露松八、誠言八、水也八、蚊柱八、沾円七、沾巴七、沾滯七、沾梅七、柄雖一、

三、飯野八幡宮奉納和歌　寶永六歳　內藤下野守

十二月十五日　藤原政榮

として短册九葉がある。表書に由れば池內源二郞、中島定八、內藤治部左工門室、矢田惣右工門、長井氏、兒玉源左工門、淺竹氏、政榮等の作である。

亦同じく短册類で元祿十六癸未年六月朔日、內藤下野守藤原政榮として飯野八幡宮遷座奉納五十首和歌がある。前の俳諧百韻と同時に奉納したものであらう。裏書はないので本名は分らないが次の人々の作である。

政榮、正倫、清延、光豐、易昌、直光、○利、恕專、重高、民弘、英成、沾堅、寳之、茂房、知忠

四、飯野八幡宮御宅奉納夢想和歌　正德元辛卯歳五月廿八日　瀨戶一

として次の人えの和歌があるが瀨戶一としてきいた事のある名であるが今の所思い出せない。

穗麿、長兵工、內藤玄蕃、池內國次郞、兒玉源右工門、加藤代右工門、竹出正倫、猪狩意伯、內藤治部左工門室、淺竹恕專、蒲生源左工門、町野甚五工門、長龍寺、內藤太三郞、土方六八內室、平野又右工門、內藤治部左工門

五、夢想連歌として光能、光阪、緫重、來重、郷里の連歌があり、奉納詠歌として光能（加藤氏）の和歌一首が現存する。

六、寬文九年露沾十五才の時都鄙の俳人卅六人の句をあつめて奉納した色紙數葉が現存する。松山玖也の序及び筆で江戶、大坂、京の俳人を始めとして全國的に及び當時の堂々たる大家そろいで露沾が年少の時より、如何にその道に精進しておつたかがうかがはれる。序文には卅六人とあるが現存するものでは卅九人しかみつからない。（註）寬文年間は歌仙の奉納された年で五年六年と師の季吟や完因も全八幡宮に納めている。この奉納したものは色紙六枚である。

奥州岩城郡赤目崎飯野八幡宮は世々この所にあとを⊙⊙⊙⊙ひく弓矢の身をたすけ里民をなで感應もつともいちじるし、されば御城主信心渇仰のあまり都鄙の逸者卅六人におほせて俳諧發句各一つをさゝげしめて寶殿におさめたてまつる。余もその數に加はるのみならず筆とる役にさへ定められ侍ればまことに身の冥加あるにやとかへりみずとの仰せにしたがうものなり。

寬文九年三月中五一　松山玖也拜

江戶住神野忠知、京住松江宗みん、全橋本富長、全掠智一雪、全嵐月不見、岩城住松賀紫塵、伊勢住荒木加友、江戶住高島玄札、京住中井宗隆、二本松住江口蒼言、江戶住松村正恒、大坂住西山雲翁、京住北村季吟、大坂住伊勢村意朔、江戶住高井立志、大坂住伊勢村重安、岩城住飯野盛次、全岡形但重、全磯口勝盛、大坂住林宗甫、全濱田正倫、全水口不貞、全松山玖也、京住松江重頼、伏見住鶴任口、京住荻田似笑、岩城住伊丹公昌、全義英、江戶住門村菊豐

季吟とは露沾の師であるし、松江重頼は貞門七俳仙の一人で季吟とは同門、荒木加友、高島玄札は貞門江戶の五俳哲と稱せられた人で玄札は會津藩主保科正之公の師事した人である。西山雲翁は宗因のことであろうが、今の所よく分らない。飯野盛次は飯野家中興の祖といはれた人で飯野氏の祖で義英は露沾の幼名である。

以上內容は別の機會にまつとして大要丈略述したがこれに由つて內容の檢討をしていただければ幸である。（昭和二三、九、二〇稿）

兩者の對立激化す

消防團再度態度表明

鹿島村問題

（既報）去る二十日以來聲明書を發表、新妻團長以下團員百三十五名の辭表を村當局に提出した儘その後八代義忠村長の斡旋も効を奏さず、微妙な對立を續けている鹿島村消防團では五日、新妻團長は消防團幹部數名と共に自分達は辭表も出し、ハッピも返納したから團員ではないが災害の場合は一村民として行動するとその態度を重ねて正式に表明、更に

去る九月二十三日の村會は年手當を百円に値上げをしたが二十二年度分は依然三十円に減額されたままになつているから承服出來ず、又この減額案提案者の陳謝を要求する態度には變りはないから辭表は絶對に撤回しない

大名旅行は何事だ

村會の道路陳情の內幕を暴露

更に村會の態度の難詰に及び村會議員十四名（議長四家重雄氏）は去る七月一日ころ新潟―小名濱間直通道路開設に伴い鹿島村通過を陳情しに出掛けたがこの際旅費として二万円を農業會から借用更に酒五升の特配を受けて飯坂、沼尻、東山の三溫泉に三泊四日の大名旅行をしているが決議機關にすぎない村會が殆ど全員を擧げて陳情に行く必要が果してあるだろうか、まして我々消防團や他の者さへ受けたことのない酒五升を持つて陳情に行くなど、この消防團の重要な問題が一寸も解決されない時においては村會に誠意がないと認めざるを得ない、村長の今年春頃の骨折りにより一時は提案者の陳謝とか年手當の支給とかで解決するかにみえたものが第三者の介入でか、村會の態度が硬化し村長も消極的になつてしまつては、從來村長を通じて交渉をつゞけただけに、これは正に消防團への不信任だと考え、總辭職するに至つたのだ

と稍り積極的に村會の內幕を暴露に出たためいよ〳〵兩者の對立は激化、今後の成行は極めて注目されている

やましい事更になし

八代村長の談

八代村長は右の大名旅行につき左の通り語つている

七月一日の陳情は私の發意に基いたもので、盛り上る村民の熱意を縣に反映させたいために多數議員が出張したのだ、飯坂や沼尻等に泊つたのは日頃わびしい山村にある議員に縣下の名所を滿喫させたいためで、二万円の金も、當時出發直前でもあつたため万止を得ず一時農業會から借りたが之は私が後で立替えて支拂つた、とにかく私達には何等やましい事はない、二十二年度の年手當は前年度の事であり今では問題外である いづれにせよこの樣な問題を部外者に發表するのは不都合だ、なお後二十三日中には片付くものとみている

サツマイモの山

小名濱港に滯貨一萬八千余俵

早くも腐れ始めて關係者憂慮

去る二十一日以來岩手縣の水害地と北海道向けのサツマイモ二百九十八車が小名濱港より船便で發送すべく續々到着したが肝心の配船が思うようにいかぬため仁日現在で發送洩れとなり同港に滯貨しているもの一萬八千百四十一俵（十二貫匁入）に達しうち一千俵のイモが惡天候に祟られ腐敗を始め關係者を憂慮させている

かず〳〵の滯貨原因

一度にどつと着荷も強く響く

小名濱港からの積出豫定は岩手縣への水害地へ九月分二萬八千俵、十月分四萬八千俵でこのほか種馬鈴薯とのリンクにより北海道へ相當量（數量未定）が積出される豫定であり、うち小名濱港灣會社では今まで十一隻の貨物船により二萬七千六百七十俵（うち北海道へ五千俵）を發送したが何せ一ケ月の輸送計畫分が僅か一週間位で茨城、千葉、栃木、埼玉縣より一度に到着したため發送計畫が亂れて目茶苦茶になつてしまつたものである 同港灣會社では船舶運營會方面へも配船を陳情し滯貨一掃に努めているが丁度リビー颱風の影響を受けて海上が荒れており加えてサツマイモの輸送は燃料油の配給がないので各船ともわざ〳〵空船で救援に來てくれるものもなく僅かに小名濱港より空船で歸る貨物船を利用しようとしたところにこの大量滯貨の原因を作つている模樣で海上が靜まるのを待つより外なく腐敗の早いサツマイモだけに氣を揉ませている

小名濱町に千三百俵

荷さばきに躍氣

イモの大量腐敗に備えて藷類局福島事務所では地元に早く配給してしまおうと取敢えず小名濱町に千三百俵を配給、更に平方部へも振向けたい意向であつたが食糧配給公團平支所で反對したためそのまゝ放置されている なおサツマイモの見返り品として北海道から到着した馬鈴薯船は二隻五千俵でこの八日から十日にかけ十二三隻の馬鈴薯船團が續々入港する豫定なので小名濱港は出入イモ船でごつた返すものと見られている

農地改良の實際を視察

石城農事協議會が

神谷農試內にある石城農事協議會では會員二十名が石城地方の農地改良の實際を見學しようと六日朝折柄の雨を衝いて自轉車で今七日夕刻まで飯野、高久、江名、小名濱、好間、赤井、平、大野、四倉、草野の各市町村に農作物の栽培研究や農業氣象、稻安製造、農業向住宅、畜産、果樹の經營などをつぶさに視察した

十月將棋大會

平將棋倶樂部では十日市內五丁目の會所に十月例大會を開く、AB賞とも四等まで出る 會費は五十円である

映畫評

音樂二十の扉

熊谷　功

先づアメリカ好みのオペレツタものといゝたいがそれ迄に氣の毒ながら行つて居ない。でも昨年の「盜まれかけた音樂祭」よりは相當垢拔けして來ているし場面も鏶合を主にやつたのは賢明といえる。それも適度に止めて二十の扉等を織りこませたのは多分島の創意であろうが、いゝ事だと思う。

內容は別してとり立てる程のものがないが日高澄子一人が際立つている。この女優は大映としても珍しい歌の唄えるのが取柄で、魅力も案外あるのは使い物によつてはまだ〳〵伸びる力があるということを物語つていると思う。

水野浩もこれが二作位であろうが、まだこんな映畫等を作らしたくないものである。新人らしいひたむきさがどうしても失われるからである。歌が十分過ぎる位で映畫として見るよりも歌を聞きに行くといつた方が無類の樣な映畫である（完）

青少年創意工夫作品展

市並に平商工會議所共催の靑少年創意工夫作品展は來月九日より三日間市內第三小學校講堂に開く、この作品は磐三郡下の各學校生徒によるもので入場無料

四倉にも納豆中毒

三十余名が行商人から買って

平保健所では六日四倉町新町一帶にも納豆中毒患者二十余名が發生したとの報に今日夕刻調査員を急派豐田美孝さん（四四）家族五名、伊藤良助さん（三三）方女中さん一名及び家族四名、戶田忠さん（三五）方三名、金澤賢吉さん（三六）方二名と同居人小林年男さん（一九）鈴木忠三さん（三〇）方二名の計六世帶二十一名の診斷を行つたが、これ等は三日朝根町方面から賣りに來たものを買い込み食つたもので食後六時間乃至七時間位で下痢症狀を起しつゞいて激しい吐しや腹痛を催し四十度位の高熱を出したが、いづれも六日夜半ころから回復し現在は異常ないなお全保健所では四倉警察署並に役場とも協議の上全町內の納豆小賣業者に對し即時販賣中止を命じた

內郷署でも納豆檢査を

內郷署では隣接各町村の納豆中毒事件續發に考慮して六日午前六時を期して全管內の特別執行を行い納豆小賣業者十四名から三百三十二個を押收して平保健所に檢査を依賴した。

いわき民報案內
有名商店

靈柩車をお利用下さい
山光堂葬儀社
平市四丁目 電五五〇

秋の衣類の整理は
永山洗染舖
―皆樣のクリーニング店―
…最高の技術…
平市大町五　電話608番

精神科
內科
平市仮小路
アラタメ
新田目醫院
電215

放射線科
內科
ヤグチ
谷口醫院
平市一丁目橫

ぬれたインキで乾いて書ける
最新型ノック式ボール・ペン
美術石膏各種入荷致しております
どうぞ御批評下さい
岡萬年筆店
平市三丁目　電三九九

キモノと洋服…買入ト販賣
福屋
（平驛下車左大通リ角カラ五軒目）
平驛前シロガネ通り

◆新築移轉御知らせ◆
強制疎開以來驛前假營業所にて皆樣に御不自由をお掛け致して居りましたが今度三年振りに當所に戻つて參りましたから何卒舊倍の御引立御支援の程御願い致します
平市四丁目（郵便局隣）電一四四
小野屋藥局

生徒募集（晝間部午前八時）（夜間部午後六時）
速成科（高女卒）三ケ月
普通科（尋高卒）五ケ月
平市田町五五（電二〇四）
榮タイピスト養成所

健康のモトは
每月一回淸腸日を
1 腸の毒素排除（淸腸藥）
2 回虫撓虫の驅除（虫下シ）
3 レバロン、カルシウムの營養藥の補給（ツカレ、ムシワカズ）
日本健民學生師會研究員
國民健康保險藥劑師
公衆衛生師
藥劑師　阿部康雄
阿康藥局
平市田町銀座街

小兒マヒ治療
赤外光線
早川治療所
石城郡大浦村上仁井田
四倉驛下車十五分（電四倉二二甲）